

重点 京都の知恵や価値観を生かした
戦略 「新産業創造戦略」

－ 京プランに掲げた「基本的な考え方」 －

加速する国際化のなかで新たな市場や顧客を開拓し、産業の競争力を高め、市民に多様な雇用の機会を提供し、やりがいをもって安心して働ける環境を整えることで、豊かな生活や社会を支える経済基盤を確立する。

そのために、伝統産業から先端産業までの幅広い業種と、大企業から中小企業までの多様な規模の企業が立地する重層的な産業構造が有する高い技術力や匠のわざ、産学公のネットワークなどこれまで京都が築き上げてきたさまざまな知恵を融合し、広く国内外から人材や資金などを呼び込みながら、環境、健康、コンテンツ、観光、農林などの分野で、付加価値の高い新産業を創造する。

－ 京プラン後半期における取組の方向性 －

京都の知恵、強みや地域資源を活かした「新産業の創造」、「中小・ベンチャー企業の支援」の推進等により、経済規模を示す市内総生産は増加し、リーマンショックに伴う高失業率からも大きな改善が進んでいる。一方で、中小企業の働き手の確保や環太平洋連携協定（TPP）への対応など中小企業を取り巻く環境の変化や課題が存在する。今後は、経済成長を幅広い分野や中小企業に循環させ、安定した雇用の創出や市民所得の向上、税収増加につなげることが求められる。

そのため、新産業の創造や中小・ベンチャー企業支援の推進に加え、中小企業をはじめとする企業活動の活性化により産業の振興と経済の循環を促し、京都の稼ぐ力を一層引き出すことで、雇用と所得を増加させる。また、多様な働き方への理解促進や働き方改革を推進し、雇用の質を向上させる。さらに、より実効性ある企業立地促進や流出防止策、産業支援機関の機能充実などにより、市内での継続的な事業展開を支援し、魅力あるビジネス環境の構築に取り組む。

主な共汗指標

① 新産業や知恵産業の創造を牽引する企業の認定数

(Aランク認定企業^{※1}、オスカー認定企業^{※2}、知恵創出“目の輝き”認定企業^{※3}、「これからの1000年を紡ぐ企業認定」による認定企業(ソーシャルイノベーション)^{※4}数の合計)
187件(22年度) ⇒ 270件(26年度) ⇒ **目標** 440件(32年度)

② (地独)京都市産業技術研究所における技術相談件数、依頼試験・分析、設備機器利用の件数

－(22年度) ⇒ 20,022件(26年度) ⇒ **目標** 21,000件(32年度)

③ 「いきいきと働ける場を得る機会」の実感度

(市民生活実感評価の「働くことを希望するひとがいきいきと働ける場を得る機会がある」で「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合の合計)

11% (23年度) ⇒ 14% (27年度) ⇒ **目標** 28% (32年度) 【27年度から倍増】

④ 京都府の不本意非正規雇用比率

(京都ジョブパーク調査等で、府内の非正規雇用者のうち不本意に非正規を選択したと回答したひとの割合)

21.7% (25年度) ⇒ 18.0% (26年度) ⇒ **目標** 10.0%以下 (32年度)

重点プロジェクト

1 中小企業と若者・学生とのマッチングなど中小企業の働き手・担い手確保支援の推進

中小企業に蓄積された誇れる技術などの魅力を体感できる、企業情報発信 web サイトの充実やインターンシップの仕組みづくり、学生などと企業との交流会の実施などの効果的なマッチング支援に取り組み、中小企業が必要な働き手・担い手を確保できるよう支援する。

2 京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター創造事業の推進

農家を志す若者の就農支援や、すべてのひとが親しめる伝統産業製品の開発・販売など、ビジネスの手法で様々な社会的課題の解決を図ろうとする企業に対し、認定制度の運用による社会的信用の付与や京都市ソーシャルイノベーション研究所を核とした産学官金の連携による各種サポート策の充実を図る。

3 京都発ベンチャー企業や知恵産業企業の創出と中堅企業への成長の促進

京都発のベンチャー企業の創出を図るとともに、経営面・技術面での総合的な支援により中小・ベンチャー企業の競争力を高めることで、グローバル・ニッチ・トップ企業など世界に羽ばたく中堅企業への成長を促す。

4 グリーン、ライフサイエンス、コンテンツなど京都が強みを持つ成長分野における新事業の創出

グリーン（環境・エネルギー）やライフサイエンス（医療・健康・福祉）、コンテンツ（マンガ・アニメ・ゲーム・映画）といった成長分野において、産・学・公・地域が連携して研究開発やその成果の事業化、研究者や技術者、クリエイターなどの育成、拠点整備等を推進することで、新事業の創出を図り、市場の拡大を目指す。

(1) グリーン（環境・エネルギー）産業の振興

(2) 医療、健康・福祉・介護、地場ライフサイエンス分野の産業振興の推進

(3) 多様な地域資源を活かしたコンテンツ産業の振興

5 北部山間地域における農林業の活性化，地域資源を活かした新事業の創出

収益性の高い農作物や大規模化しやすい農作物の生産拡大，それらを活用した6次産業化の推進，さらに，その支援を行う地域の拡大等により，農山村の活性化と農林業の持続的経営力の強化を図る。

6 中小企業支援の拠点となる京都経済センター（仮称）の整備 **新規**

様々な知恵が融合し新たな価値を生み出す「交流と融合」の場を提供し，京都経済の活性化に資するとともに，新たな時代に相応しい中小企業支援機能を集積し，中小企業が抱える課題解決や繊維産業の振興に京都の総合力を結集して取り組むための総合支援拠点を整備する。

また，その立地を活かして，多くの人々が集まり，交流するにぎわい施設を設け，都心部の魅力向上と活性化を図る。

7 世界で活躍する研究者等が集う交流拠点の形成 **新規**

大学や文化機関等と連携して，世界で活躍する研究者，芸術家，経済人など創造的なひとが京都に集う拠点を形成し，相互交流や地域との交流を促進することで，学術，文化，産業等のイノベーションや新たなビジネスの創出に取り組む。

戦略を推進する4つの柱

柱1 大学の知，歴史文化，伝統産業など京都の知恵と強みを活かした成長戦略の推進

- ① 知恵ビジネス企業等の発掘・成長支援
- ② 「京もの」の海外進出支援事業の推進
- ③ 京ものブランド確立に向けた生産履歴システムの開発等の支援 **新規**
- ④ 「京都伝統産業ふれあい館」を核とした，観光や販売促進の視点を取り入れた伝統産業の振興
- ⑤ 「日本酒乾杯条例」を契機に新たなプロジェクトに取り組む伝統産業若手職人の支援
- ⑥ 「伝統産業の日」の全国拡大をはじめとした伝統産業の振興
- ⑦ 首都圏での発信拠点となる京都館の移転を契機とした，国内外の人々を魅了し，京都ファンを増やす産業・文化の魅力発信力の更なる強化
- ⑧ 国家戦略特区等を活用した産業の国際競争力の強化

―別掲・再掲事業―

- ⑨ 水素社会の構築などエネルギー関連新技術等の開発促進<P18>
- ⑩ 岡崎地域公共施設間エネルギーネットワーク形成実証事業の推進<P18>
- ⑪ バイオマス（生物由来の有機性資源）活用の推進<P19>
- ⑫ 東京オリンピック・パラリンピックや関西ワールドマスターズゲームズ2021，世界博物館大会（ICOM2019）等を契機とする，京都文化フェア（仮称）2016-2020をはじめとした多彩な事業の展開による京都の文化力の一層の向上<P26>
- ⑬ 和装，華道，庭園文化など京都に息づき世界的に評価の高まっている和の文化の振興とユネスコ無形文化遺産への登録に向けた支援<P28>

- ⑭ 新たな観光資源の発掘と伝統産業製品の販路拡大を図る工房訪問事業の推進
〈P35〉
- ⑮ 市民ぐるみで健康づくりに取り組む「世界一健康長寿のまち・京都」推進プロジェクト〈P60〉

柱2 雇用を創出し、地域経済や暮らしを支え・牽引する中小企業の下支え

- ① 京都の強みを活かした産業振興による安定した雇用の創出やひとづくりの推進
 - ② 不本意非正規の正規化など安定雇用に向けた京都ならではの働き方改革推進 新規
 - ③ ひとを大切にする京都ならではの働き方を推進する「京都労働経済活力会議」など行政、労使団体による「ブラック企業・ブラックバイト」の根絶に向けた周知・啓発
 - ④ 「中小企業振興会議（仮称）」の創設による、関係者の知恵と力を結集した一層の実効性ある振興策の推進 新規
 - ⑤ 中小企業・業界団体の課題解決や活性化など中小企業の持続的な発展支援 新規
 - ⑥ 「商店街空き店舗解消促進事業」の推進 新規
 - ⑦ 商業者と事業者・地域住民・学生等との交流を通じて商業や地域の活性化を図る「まち・お店・ひと 縁結びプロジェクト」の推進 新規
 - ⑧ 「商業振興アドバイザリー会議（仮称）」の新設による効果的な商業振興施策の推進 新規
 - ⑨ 専門家等の派遣など商店街の課題に応じた支援策の実施 新規
- ―別掲・再掲事業―
- ⑩ 世界にはばたく伝統産業後継者育成事業〈P43〉
 - ⑪ 大学を核にした地域連携，企業連携の推進〈P43〉
 - ⑫ 留学生誘致の総合的な取組の推進〈P43〉
 - ⑬ 若者の職業的自立を支援する「京都若者サポートステーション」の取組の推進など，更なる青少年の自立支援の強化〈P44〉
 - ⑭ 働き方改革に向けた環境整備の推進〈P52〉
 - ⑮ 企業における「真のワーク・ライフ・バランス」の実現を支援するアドバイザーの派遣〈P52〉
 - ⑯ はあと・フレンズ・プロジェクトをはじめ障害のあるひとへの就労支援の更なる推進〈P62〉

柱3 農林業などの京都の資源・文化を活かした産業の活性化

- ① 京野菜の生産・流通・消費体制の強化
- ② 京の花文化の継承と花関連産業の振興 新規
- ③ 建築用材や未利用間伐材など市内産木材の総合的な需要拡大
- ④ 市民農家の創出（遊休農地等を活用した市民との協働による農作物作りの実践等） 新規
- ⑤ 農林業体験を活用した観光ビジネスの展開 新規

- ⑥ 集中的な森林整備や林業振興をめざすための関係機関とも連携した新たな仕組みづくりの検討 **新規**

―別掲・再掲事業―

- ⑦ 市内産木材の土木構造物等への積極的な活用による環境にやさしい「地産地消」の取組の強化<P19>
- ⑧ 北部山間地域等の振興<P30>
- ⑨ 安全・安心な生鮮食料品の流通を担い、市民の健康と食文化、産地を支える中央市場の施設整備の推進<P64>

柱4 産業支援機関の機能充実や産学公連携などによる事業環境整備

- ① 京都の新たな活力を担う「らくなん進都」をはじめとする市南部地域を中心とした企業誘致の推進
- ② 地元企業の事業拡大や企業誘致を推進するための新たな産業用地の確保・創出 **新規**
- ③ 京都産学公共同研究拠点「知恵の輪」における研究プロジェクトの推進
- ④ ものづくり中小企業の事業展開を技術面から支援する（地独）京都市産業技術研究所の事業推進
- ⑤ 新事業創出や中小・ベンチャー企業の成長を支援する（公財）京都高度技術研究所の事業推進

―別掲・再掲事業―

- ⑥ 「らくなん進都」における企業集積の促進や交通利便性の向上、快適な都市環境の実現等を目指した総合的なまちづくりの推進<P32>
- ⑦ 京都産学公共同研究拠点「知恵の輪」における技術者育成の推進<P45>

〈用語説明〉

※1 Aランク認定企業：

次代の京都経済をリードするベンチャー企業を発掘、育成することを目的とした「京都市ベンチャー企業目利き委員会」が起業家の資質や事業プランの技術、アイデア等を評価し、「事業成立の可能性が大きい」として認定する制度(平成9年創設,平成26年度 累計113件)

※2 オスカー認定企業：

京都経済の中核を担う中小企業の育成を目的として、優れた事業計画により積極的に経営革新に取り組む中小企業を認定する制度(平成14年創設,平成26年度 累計149件)

※3 知恵創出“目の輝き”認定企業：

知恵産業をキーワードにした新技術・新商品の開発等により製品化・事業化に至った取組のうち、知恵産業の推進に大きく寄与した企業・団体を認定する制度(平成25年創設,平成26年度 累計8件)

※4 「これからの1000年を紡ぐ企業認定」による認定企業（ソーシャルイノベーション）：

社会的課題を解決し、社会的課題を生まない社会をつくる企業を認定する制度（平成27年創設）